

記者発表資料

平成26年度 東京空港整備事務所の事業概要について

H26年度事業費：197億円

事業の概要

東京国際空港（羽田空港）は、国内交通の中心として国内49空港との間に1日約500往復（平成26年夏ダイヤ）、また国際航空交通では海外18都市との間にネットワークが形成され、国内・国際総旅客数で年間約6,700万人（平成24年度）の人々が利用しています。

今後も24時間国際拠点空港化を推進し、首都圏空港の機能強化のために必要なインフラ整備を実施します。併せて、首都直下地震への対応として、地震災害時においても空港機能を維持するため、施設の耐震化を進めます。これにより、首都圏の交通利便性を向上させ、ヒト、モノの活性化の基盤となる立地競争力強化を図ります。

平成26年度予定

C滑走路延伸事業やエプロン（駐機場）整備を進めるほか、空港アクセス道路改良、国際線・国内線地区を結ぶトンネル（際内トンネル）の整備、C滑走路耐震化等を実施します。

事業の効果

- ・深夜早朝時間帯に就航する長距離国際線機材の大型化が可能となります。
- ・夜間駐機場の拡充により、拠点空港機能が強化されます。

平成26年度 主要整備事項



撮影26年1月
©DigitalGlobe

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ	神奈川建設記者会
都庁記者クラブ	千葉県政記者クラブ	東京航空記者会

問い合わせ先

所属	関東地方整備局 東京空港整備事務所	
担当	副所長 齋藤 正幸、第一工務課長	おおはし てるみ 大橋 照美
電話	03-5757-2076	